

明治天皇紀の公刊

明治天皇紀の公刊については、これまで学界その他より強い要望があり、当部に於てもかねてよりこれに応ずべく考慮していたところであったが、たまたま明治百年を迎えるに当たり、内閣の明治百年記念準備会議に於ても記念事業の一つとしてその公刊を要望されたので、これを機として、去る昭和四十二年四月より出版の準備に着手した。

明治天皇紀は、宮内省に設けられた臨時帝室編修局が大正四年から昭和八年まで十八年余の年月をかけて編修したもので、明治天皇御一代の事蹟を編年体に記述した本文二百六十巻と、摘要目次十巻、索引十四巻、絵画一帙より成る。今般公刊の刊本は、この本文二百六十巻を十二冊にまとめ、これに新たに作成した索引一冊を添え、全十三冊とするものである。その記事の体裁・内容については、原本では原則として仮名は片仮名を用いたのを平仮名に改め、各記事の末に註載された依拠史料の所蔵者名を便宜省略し、また新たに主要記事について適宜標目を附したほかは概ね原本を踏襲することとしたが、なお記事の全般にわたつて、あらためて御紀資料稿本所収の依拠史料と照合し、補正の必要あるものは、これを修訂することとした。また刊本各冊の収載年次は次のとおりである。

第一 自嘉永五年 至明治元年

第二 自明治二年 至同五年

第三 自明治六年 至同九年

第四 自明治十年 至同十二年

第五 自明治十三年 至同十五年

第六 自明治十六年 至同二十年

第七 自明治二十一年 至同二十四年

第八 自明治二十五年 至同二十八年

第九 自明治二十九年 至同三十三年

第十 自明治三十四年 至同三十七年

第十一 自明治三十八年 至同四十年

第十二 自明治四十一年 至同四十五年

第十三 索引

以上の中、第一冊は昨四十三年十月に、第二冊は本年三月に出版を終え、本年度より第三冊以下を逐次刊行する予定である。なお出版は吉川弘文館に委託した。

図書関係事業概要

一、出版

天子撰関御影 大臣部 影印 一卷 解題 一冊 一五〇部 便利堂